

介護施設等で働く看護職の集いを 開催しました

日 時：令和7年10月15日（水）13：30～15：30

会 場：岩手県看護研修センターからハイブリッド開催

参加者：会場参加16名（委員含む）、zoom参加18名 計34名

講演

「高齢者のスキンケアについて」

講師：医療法人社団たにむらクリニック

皮膚・排泄ケア特定認定看護師 及川香奈恵 先生

講演では、高齢者の皮膚が薄く乾燥しやすく、バリア機能が低下しているという特徴を踏まえ、予防的なケアの大切さについてお話がありました。また、介護施設では医療施設とは異なる環境や制約がある中で、現場に合った工夫をしながらケアを行うことの重要性もお話いただきました。

スキンケアの基本は「洗浄・保湿・保護」の3原則であり、この原則を守り丁寧に行うことがトラブル予防につながります。褥瘡・スキンテア・IAD（失禁関連皮膚炎）などの現場でよく見られる皮膚トラブルに対しても、日常的な観察と予防的スキンケアが最も大切であると学びました。

講師からは「明日からできるアクション」として、日々の皮膚観察の習慣化や入浴・清拭後のタイムリーな保湿、チームでの情報共有や記録の充実があげられました。最後には「知識は財産です。情報を共有し、常にアップデートしていきましょう。」という言葉をいただき、参加者一同があらためて日々のケアの意義を感じる時間となりました。

意見交換では、白癬や巻き爪の処置、保湿剤や軟膏の選び方など、日ごろ現場で直面している疑問や悩みなど具体的な質問が多く出され、講師から実践的なアドバイスをいただきました。参加者からは「施設で問題になっている内容を、わかりやすく実践的に学べて参考になった」「日常の疑問が解決できて知識が増えた」「同じように悩みながら働いている仲間がいると分かって安心した」など、多くの感想が寄せられました。

今回の研修を通して、日々のケアの積み重ねが利用者の皮膚を守ることにつながるという意識を、改めて確認することができました。

